



みさき公園の 存続に向けて

8月5日に岬町行政から議会へ「みさき公園の後継事業者に関する報告と閉園準備について」を報告されました。

その内容とは、みさき公園を遊園地として継続運営していきたいと考える事業者が現れ、様々な活性化策を持って南海電鉄と協議をしてきたが、公園用地の町有化とその他6項目の条件を主張する町行政と、事業継続を安定させるための投資を行うため公園用地の自社所有を主張する事業者との折り合いがつかず、公園は来年3月31日の閉園に向けて準備を開始するというものでした。

3月に町行政から議会へ、南海電鉄がみさき公園事業からの撤退と後継事業者を探す旨を報告されてから、わずか2度の報告。歴史ある町のランドマーク・シンボリックな公園であり、仕事や雇用、岬町の交流人口の増加に大きく貢献された公園の存続に関わる案件にも関わらず、議会としてほとんどこの件についての報告がなく、議論できる場も設定されずにこのような報告を受けて、呆然とし大変ショックを受けたものです。

8月5日は結果報告の場に過ぎず、私は説明を受けながら頭の中で時系列で整理しつつ、理解できないことを順番に質問するも、最後までこの閉園準備に至るまでの経緯や決断を私は理解できませんでした。

閉園後、公園をどうするのか、今のところプランはなく、今後考えていくと言うスタンスの町行政。岬町の仕事・雇用・交流人口・税収等々の激減が必至の中、私は疑問を持って、9月3日の岬町議会一般質問の場でみっちりこの経緯や決断について町行政に質問し、議論をしました。

そこで明らかになったことをここでお伝えします。

このような経緯をもって、そのまま閉園に向かうことを、町民や町外の多くの人が望んでいることなのか。

多くの方々にこの中身を知っていただいて、皆様のお考えや意見をお聞きしたいと考えています。

報告会を開催!! 裏面へ

岬町議会議員
まつお ただし
松尾匡

Eメール・ホームページでご意見等お待ちしています!

mail@t-matsuo.net

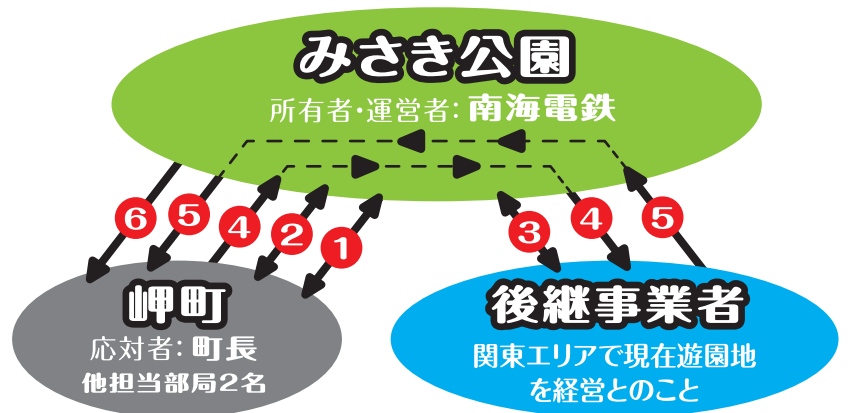
ホームページ

http://t-matsuo.net

岬町 松尾匡



議会で明らかになったこと



- 1 岬町と南海電鉄は、みさき公園の開園当初に都市公園(みさき公園)の建設・経営に関する契約書を締結している
- 2 今年3月に南海電鉄がみさき公園事業の撤退を表明
南海電鉄が公園の後継事業者を探しはじめる
・町長と南海電鉄社長との間で、閉園後は南海電鉄がみさき公園の土地と施設を岬町へ無償譲渡、施設は町の意向に無償修繕することを口約束する
- 3 南海電鉄が探していた後継事業者が4社現れ、そのうちみさき公園の活性化策を提案する1社と本格的に交渉を再開する
- 4 岬町は南海電鉄を介して(間接的に)、後継事業者へみさき公園を後継する条件として、岬町がみさき公園の土地を無償で所有した後、
1、年間8千万円の公園使用料を後継事業者から徴収すること
2、みさき公園駅前の広大な駐車場は、岬町が今後使用するため、公園の来客駐車場は後継事業者が別の場所に設定することを含むその他、合計6項目の条件を提示・主張する
- 5 後継事業者は、今後の公園事業の安定と活性化策の投資を行うために、公園の土地所有が条件であることを伝える
- 6 南海電鉄は、条件が合わない岬町と後継事業者の折り合いをつけるべく、岬町へ3者(岬町・南海電鉄・後継事業者)で直接協議することをお願いするも、岬町は条件を見直すことなく、直接協議することを断る

結果、交渉決裂!

みさき公園は令和2年3月31日で閉園予定となる

**みさき公園問題の一問一答
の様子を動画(YouTube)
で、ぜひご覧ください!**



URLはこちら▶▶ <https://youtu.be/rJ7NkZBIRwE>

検索方法はこちら▶▶

松尾匡 一般質問



◀◀QRコードリーダー
読み取りはこちら

▶▶「令和元年9月一般質問」を選択

見えてきたこと

●町長はみさき公園の開園当初に締結した、南海電鉄との都市公園(みさき公園)の建設・経営に関する**契約書を守ることを、公園の存続以上に重きを置いている**ことが明らかとなりました。(契約書には、土地を第三者に譲渡又は貸与しないことと、公園施設以外の目的に使用しないこと、また第三者に公園施設の設置や維持経営させないこと、などが記載)

●みさき公園を後継する事業者に、**土地は岬町が所有し、使用料として年間8千万円の徴収や、現在のみさき公園駅前駐車場の使用禁止など、6項目を、公園の運営条件として伝えていた**ことが明らかとなりました。

●閉園後は、岬町が主体となって遊園地以外の事業もこれから考えていく**(現在、それに代わる活性化策はない)**とのこと。

●交渉が難航したために南海電鉄が岬町に3者協議の申し入れをしてきたことに対して、**町長は「全責任が岬町に及ぶから直接の協議はしない方が良い」と**のことで申し入れを断り、交渉が決裂。

●町長と南海電鉄社長との間で、「みさき公園の土地と施設は岬町に無償譲渡、施設の改修や除却も南海電鉄が無償で行う」ことを**口約束し、後の話を進めている**ことがわかりました。

現在年間約40万人の交流人口と、その方々が消費する町内商店等への経済効果、100人以上の従業員、年間3300万円の固定資産税収入、そして何より約60年余り築きあげられた知名度・ブランド等々…それらを**全て無しにして、1から新たな事業を考えて今のみさき公園と同等の賑わう事業を創れるでしょうか?!**

重大な内容が口約束で進んでいることについて、これが後で「言った・言わない」というような紛争になったり、土地や施設が有償譲渡になって、積み上げてきた話が台無しになることなどを懸念して、私は議会で「閉園後、土地や施設は無償譲渡」の覚書を双方で交わすべきでは?と伝えました。南海電鉄が後継事業者に対して、事業を引き継いでくれる見返りに土地や施設を無償譲渡する話し合いであれば理解できます(南海電鉄としては施設の撤去費用負担が避けられ、後継事業者としてもそのまま居抜きで事業を行える、双方メリットがあるため)が、岬町への土地と施設の無償譲渡について、岬町にしかメリットがない取引なので、**果たして本当に無償で譲渡されるのか、私は最後まで疑問でなりません。**

疑問に思うこと

契約書には補足で「但し必要ある場合は協議するものとする」と書かれていること、また双方合意の上であれば、契約変更など新たに見直しの協議が可能はず。公園の存続を本当に願うのであれば、**その条件に合わせた協議を行い、契約の見直しをする努力をするべきだ**と考えます。

この条件の妥当性について、議会に上程して本来議論すべき内容だったのでは?!と考えます(議会には事後報告のみ)。今は規制を緩和したり税を優遇したりして、企業誘致の競争に岬町も勝ち抜いていかねばならない時代。**時代に逆行する、びっくりする条件を突きつけていた**ことに、町は本当に公園の存続を願っているのかを疑います。

南海電鉄としては何としてでも後継者に経営を渡したいはず。みさき公園が無くなれば「みさき公園駅」や「多奈川線」のゆく末にも関連するような町の一大案件。**町行政は危機感・責任感を最大限に持って決断している**と言えるでしょうか?!

**声を聞かせて
ください!**

**みさき公園
問題について**

**報告会を開催
します!**

この経緯をもって、住民の皆様はじめ、全国の多くの皆様が閉園を望んでいることなのか?

**下記URLにアンケートをご用意!
この問題についてのご意見をお聞かせください!**

今後の町行政に対する住民の皆様の見解として集約し、議会へ上げていければと考えています。

アンケートURL

QRコード

<http://t-matsuo.net/index.php/misakipark-worksheet/>



下記の日程で、みさき公園問題についての議会報告を開催予定です。皆様、ぜひご参加をいただき、声をお聞かせください!

賛同議員

**奥野議長 道工副議長 坂原監査委員
中原議員 反保議員 小川議員**

開催日程

11月30(土) 10時~ 淡輪海浜会館

12月10(火) 19時~ 深日会館

12月12(木) 19時~ 文化センター

